

長原 勲《剥落》2022年※本展覧会のための新制作

（公募展の現在）

令和5年 1.4 水
3.21 火祝
9:00~17:00
(入館は16:30まで)
毎週月曜休館 入館無料

総社吉備路文化館
岡山県総社市上林 1252 TEL:0866-93-2219

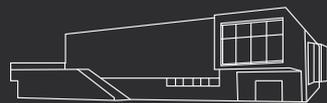
会期中イベント **参加無料**

- ①アーティストトーク 長原 勲
2月19日(日) 13:30~
- ②学芸員によるギャラリートーク
1月29日(日)、2月12日(日)
3月21日(火・祝) 各13:30~

感染症対策のお願い

- 館内ではマスクの着用をお願いします。
- 入館時にお客様のお名前とご連絡先をお伺いしています。
- 行政機関からの要請により、感染症対策を目的としてお客様の情報を保健所等に提供する場合がございます。

なぐ 黒色彩画展



総社吉備路文化館

主催：総社市、総社市教育委員会、公益財団法人 総社市文化振興財団

つなぐ 墨彩画展 ～公募展の現在～

総社市では、1996年から2010年まで、「雪舟の里総社 墨彩画公募展」を開催していました。

この公募展は、日本美術史における水墨画の大成者として「画聖」と称えられ、本市赤浜で生まれたとされる雪舟等楊を顕彰し、広く優れた墨彩画（墨の濃淡と色彩で描かれた絵画）作品を公募し文化振興に寄与することを目的として開催されたものです。

2年に一度、全8回にわたり開催された公募展では、第7回まで審査員長を務めた平山 郁夫をはじめ、上村 淳之、竹内 浩一、中野 嘉之、福井 爽人、牧 進ら日本を代表する日本画家たちが審査員を務め、全国各地から毎回300点を超える質の高い作品が集まりました。

この展覧会は、「つなぐ」をキーワードに、墨彩画公募展が現在まで残している様々な作品やつながりをご紹介します。

墨彩画公募展での雪舟大賞（最高賞）受賞を経て、アーティストとして飛躍を続ける長原 勲が、本展覧会のため新たに制作した作品をはじめ、審査員を務めた上村 淳之らの作品、総社市が所蔵する公募展の上位入賞作品を一堂に展示します。

公募展がつなぐ、過去と現在をぜひご覧ください。



長原 勲《剥落》2022年※本展覧会のための新制作



長原 勲《site.N》2008年、総社市蔵



和田 ひとえ《向日》1998年、総社市蔵



宇高 健太郎《枯蓮》2010年、総社市蔵



山本 真一《黄昏》2006年、総社市蔵



上村 淳之《月明》2004年
(公財) 総社市文化振興財団蔵

長原 勲 略歴

- 1985年 岡山県に生まれる
- 2008年 倉敷芸術科学大学大学院 芸術研究科修士課程在学中に
第7回雪舟の里総社墨彩画公募展にて雪舟大賞（最高賞）を受賞。
- 2009年 第9回岡山芸術文化賞 準グランプリ
- 2014年 第8回秀桜基金留学賞受賞作家展（スペースヴェーネレ／岡山）第8回秀桜基金留学賞
- 2015年 4 REALITIES（ベルリン／ドイツ）
- 2017年 アートフェア東京2017（東京国際フォーラム、GALLERY A-ZONE）.16
- 2019年 秀桜基金留学賞10年～そして今～（岡山県立美術館）
- 2021年 第14回I氏賞選考作品展（天神山文化プラザ／岡山）.09
- 2021年 個展 奈義町現代美術館
- 2022年 VOCA2022

会期中イベント

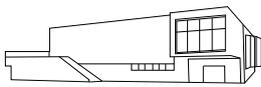
①アーティストトーク 長原 勲

2月19日(日) 13:30～ **参加無料**

②学芸員によるギャラリートーク

1月29日(日)、2月12日(日)、3月21日(火・祝)

各13:30～ **参加無料**



総社吉備路文化館

■ホームページ:

http://www.city.soja.okayama.jp/bunka/bunka_sport/hakubutu/soja_kibiji_bunkakan.html

■アクセス

備中国分寺北側の駐車場から歩いて約10分。駐車場までのアクセスは次の通りです。

●電車で…JR伯備線、JR桃太郎線、井原鉄道「総社駅」からタクシーで約15分。

●車で…岡山自動車道 岡山総社ICから約15分／山陽自動車道 倉敷ICから約15分

※カーナビをご利用の場合は、「岡山県総社市上林1112吉備路風土記の丘県営北駐車場」を目的地に設定してください。駐車場からは案内看板に従って徒歩でお越しください。

会場情報はこちら



- 会場：総社吉備路文化館
(岡山県総社市上林1252)
- 電話：0866-93-2219
- 開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日：毎週月曜日
- 入館料：無料

